

# 長浜市森林ディレクション審議会（平成29年度第1回）議事録

【日時】 平成29年9月12日（火） 14:00～16:00

【場所】 長浜市役所3階 3B-コミュニティールーム

【出席委員】 委員8名（敬称略）

会長 滋賀県立大学環境科学部環境政策課・計画学科：高橋卓也  
副会長 内保製材株式会社：川瀬文明  
長浜市伊香森林組合：高橋市衛  
滋賀県猟友会北部有害鳥獣捕獲組合：藤田和司  
妙理の里バイオマス推進協議会：片山由文  
伊香具山友会：横関隆幸  
公募市民：藤井克博  
湖北森林整備事務所：原滋治  
市（事務局）5名  
森林整備課：大澤課長、今莊課長代理、松本主幹、寺村主査  
農林課：川崎課長（オブザーバー）

## 【概要】

- (1) 長浜市森づくり計画アクションプランの進捗状況等について  
資料1～4を基に松本主幹から説明。質疑応答。
  - (2) 平成29年度事業計画について  
資料5を基に松本主幹から説明。質疑応答。
  - (3) 事業評価の検討について  
資料6～7を基に松本主幹から説明。意見聴取、質疑応答。
- 今後のスケジュールについて  
資料8を基に松本主幹から説明。  
次回会議の日程調整。

## 【議事録】

### ●開会

大澤課長：あいさつ、審議事項等について説明

### ●長浜市森づくり計画アクションプランの進捗状況等について質疑応答

・平成28年度実績全体を見て計画どおり実施された部分もあり良いところもあると思うが、一部実施をみると、民間団体の協力がなければ事業が進まないように感じるので協力要請も必要かと思う。

⇒協力を要請していきたいと思う。

#### ・ウッドジョブ体感事業

昨年度はモデルとして西浅井中学校1校で事業が実施されて計画どおりとなっているが、もっと学校数を増やしてはどうか。また、山と触れ合うことが少ないと思われる市街地等の中学校の参加を検討していくのも良いと思う。

⇒検討していきたいと思う。

#### ・高性能林業機械導入促進事業

高性能林業機械を導入してきた経過を見た中で、今後も入れていく必要があるのか。もう少し安価な機械でも良いのではないかと思うが、何か検討しているのか。

⇒平成30年度に長浜市伊香森林組合が導入予定であり、滋賀北部森林組合も導入していきたいとの要望がある。森林面積に比べ木を出す量が少ない状況であり、集約化施業の推進、境界情報の提供等、施業を行う中でもう一台増やしたいとの要望もあるため、事業に取り組んでいきたいと思う。

#### ・みどりの里親制度

環境に関する文献を読んだ中で温暖化により、スギ・ヒノキ等が枯れていくと書かれていた。ディレクション審議会の方向性として植樹等を考えていかないといけないと思う。

#### ・森林施業の団地化・集約化の推進

境界は地主の同意が必要であるが、地主が境界をわからない状況であるため、市が境界の確認を進めてほしい。また、共有林については、所有者が遠方にいる場合、全員の同意が必要であり、施業が非常に困難と聞いている。このような状況では整備が進まず、山林が荒廃してしまうため、検討していただきたい。それと、市が山地の税金を徴収しているのだから、境界をわかっていて当然だと思うが。

⇒森林法の改正があり、共有林については、全員の同意がなくても施業ができることとなった。その中で森林境界明確化は難しく、地元の協力等が必要になってくるため、平成28年度から県を通じて国に対し、境界確認の簡略ができるような制度をつくってほしいと要望を出しているところである。税金については、土地台帳の面積により賦課しており、地積測量が確定したものについては変更がかかっているため、謄本も変わり賦課も変わっている。土地管理は基本的に所有者が管理、位置を把握していると思うが、現状は難しい状況にあると思う。

#### ●平成29年度事業計画について質疑応答

六次産業化の視点を変えて、例えば、グリーンパーク山東のようにキャンプやBBQ等、家族で楽しめる環境の観光施設を作ってはどうか。

⇒類似施設として高山キャンプ場、いこいの広場、ウッディパル余呉の3つが森林空間を活用した体験交流施設として位置づけられている。

※その後、林業六次産業化の事業内容と市内における林業の現状を説明。

#### ●事業評価の検討について

・木育出前講座の内容は。

⇒園児が対象となっており、木のおもちゃを提供して遊んで終わりといった状況であるため、ウッドジョブ体感事業で対応しているところである。

・素材生産量が増えているが、用材が増えているのか、B材、C材が増えているのか知りたい。

⇒両森林組合から聞き取った傾向として、長浜市伊香森林組合はA材、B材、C材が1/3ずつぐらいである。滋賀北部森林組合はB材、C材が非常に多い。

・広報について、市産材を活用した木造住宅を建てた方に訪問取材し、活用された人の目線で記事を掲載されてはどうか。

⇒良い提案であり、今後、広報等でできれば特集を組む等していきたい。

・みどりの里親制度の評価方法について昨年も言っていたかもしれないが、実績417達成率12%になっている評価の方法は何か。評価方法が全体に対する平成28年度の評価と年度ごとの評価とバラつきがあったと思うので、年度ごとの評価方法に統一した方が良いと思う。

・温暖化によるシカの異常発生により、マダニやヤマヒル等が北上して被害が多発しているため、山に入りやすい対策が大切である。刺された時にはムヒが効く。

・里山モデル林が表の上では進んでいるように感じられた。これまではボランティアに何かをお願いするといった形であったが、これからは自治会で公園を維持管理する等、考えていく方が良いと思う。

・達成率の計算については全体をみて確認を行ってはどうか。

⇒再度、全体の達成率の確認を行う。

・地域おこし協力隊推進事業の達成率が3人で100%となっているが、林業をするのに3、4人では追いつかないと思うので、例えば目標を10人に引き上げた時に応募者が魅力を感じるような待遇を考えていかなければいけないと思う。

⇒地域おこし協力隊の任期は3年であり、来年の夏までとなっているが、3人とも継続して地域に住みながら林業やその他の活動を組み合わせてやっていきたいとの意向を持っている。また、3人で活動するのは少ないため、できれば今後募集に向けた検討をしていきたいと考えている。

・自伐型林業フォーラムには県外からの参加者を含め、100人程だったと思うが、その後のフォローアップ等をしてうまく繋げるようになってきているのか、その場だけ盛り上がり終わっていないか気になった。

⇒作業道敷設研修はハードルが高いため参加者が少ないが、チェーンソーや伐倒研修にはある程度の参加者がある。また、チェーンソーが使えると作業道が付けられて、木を出して収入が得られるとか集落の整備ができるレベルでもフィールドの問題があるため、担い手の養成として課題となっている。

・インターネット等だけでなく、モデル的に市産材を活用した住宅見学会を住宅会社と提携し、PRしていかないといけないのではなか。

・薪市場が苦戦していると聞いているため、NPO団体やしょうがい者施設の方々にやっていただいているかどうか。実際、良い仕事をしているため。

・大規模市有林活動事業の達成率が自伐型林業研修の研修地として活用したため100%というのは評価が良すぎると思う。また、市有林有効活用事業の達成率は0%であるため、頑張る必要があると思う。

・松くい虫被害対策の達成率は高いが、資料6にはすべてを対応することは難しいと書かれており、イメージとして完全に対策ができているとは思えないため、評価に反映していただければと思う。

・獣害対策について、これまで伊香地域では熊が生息しているということから、駆除に対してくくり罠を禁止していたが、他の獣害駆除がはかどらないため、今年度から規約に基づき熊がかからない直径12cm以内のくくり罠で捕獲作業をしている。ただ、イノシシの後ろ足に引っかかると前足で山を掘り荒らすため、そこで作業に従事している人達には迷惑かもしれない。猟友会としては申し訳ないところではあるが、罠保険に加入しているため、被害があれば補てんできると思う。

・高性能林業機械の定義について、例えばフォワーダであれば高性能運搬車という扱いであり、今後もし高性能な機械を導入するのであれば、林業機械にする等、検討してはどうかと思う。

・個人の境界情報はどれくらい整備されているのか。

⇒土地家屋調査士に委託して森林組合の境界明確化作業の資料として提供しているが、地籍調査があまり進んでいないため、課題として認識している。

・イベント等を行う際、きゃんせ浜姫やもえりんちゃんのようなキャラクターをPR大使として作るのもおもしろいと思う。

・高知県や秋田県等、林業圏ではしていると思うが、公共施設やバス等によるPRも良いと思う。

・基本施策の各項目についてA、Bや何%等の評価をすれば、どこが頑張れているのかわかり安くなるのかもしれない。

・市産材を活用した木造住宅の推進の中で機運を高めるという言葉を使っていたが、世襲のことを指しているのであれば、なかなか難しいところがあるため、関係者の機運が盛り上がる場所が必要なのかと思う。

・今回の意見を反映し、評価を修正する等して事務局で取りまとめていただければ良いと思う。

●今後のスケジュールについて

・次回開催日：10月3日（火）午後 ※時間と場所については、事務局で調整。

・各委員に対し、次回の会議で資料8：長浜市森林ディレクション審議会評価提案シートを使用するため、9月25日までに提出していただくよう依頼した。

・高橋会長から委員の方々に委員の任期（3年）が10月26日で満了となるため、次回の会議で3年間の審議会活動の総括等を行うことが説明された。

●閉会